所管事務調査

地域コミュニティ組織運営を調査

総　務

1/23

コミュニティ推進協議会の運営状況や施設の利用状況などについて調査しました。

調査の結果

一迫3地区の公民館は、令和2年度よりコミュニティセンターへ移行となります。施設の管理運営に当たっては、地域の特色やこれまでの活動の経過などを踏まえ計画されており、効果的に事業が推進されていました。

今後、他地区におけるコミュニティ推進協議会の運営や設置においても、地域の実情に即した、市民の主体性を活かすような方向性で事業推進に努めるべきです。

エポカ21の施設状況を調査

くりこま高原駅前の立地活かした経営を

エポカ21の運営状況や利用状況、施設について調査しました。

調査の結果

くりはら交流プラザ（エポカ21）の指定管理者として、施設の管理運営を行っている「くりはら振興株式会社」の経営状況は、長引く景気の低迷や少子高齢化の進行など、社会情勢の変化に伴い、特に冠婚葬祭件数の減少や簡略化などにより厳しい経営状況が続いています。くりこま高原駅前という絶好の立地条件を活かし、積極的な情報発信に努め、新規顧客の獲得と経営改善に努めて欲しい。

所管事務調査

台風第19号による災害復旧を調査

産業建設

1/24

市内では路肩の崩落が多く発生

稲わら処理や被災者支援の状況、災害復旧工事の進捗について聞き取りし、稲わらの処理を行う「有限会社アグリテック宮城」および災害復旧工事個所の現地調査を行いました。

調査の結果

農地における稲わらの処理については、11月18日からアグリテック宮城への搬入が開始され、12月18日の搬入量が６６７立方㍍で最大となり、その後12月下旬以降の搬入量は減少し、農地の撤去作業は完了に向け順調に推移しています。

また、農業用施設、公共土木施設の稲わら処理については、２月下旬から３月上旬の完了を目途に進捗しています。一方で農業用施設、公共土木施設の災害復旧工事は、今後工事が本格化されますが、特に農地に流入した土砂などの撤去については、関係部間で連携を図りながら営農および市民生活に支障をきたさないよう早期に完成すべきです。

所管事務調査

公認陸上競技場改修計画を調査

文教民生

1/21

築館陸上競技場の管理状況や利用状況、改修計画について調査しました。

調査の結果

市内外の多くの団体などに利用されている「築館陸上競技場」は、日本陸上競技連盟の第3種公認陸上競技場として、令和2年度末が公認更新時期にあたり、レーン幅の変更など陸上競技のルール改正への対応と併せ、経年劣化が著しい箇所の改修を予定しています。公認の継続には収入を大きく上回る維持管理経費を必要としますが、スポーツ活動の推進を図る施設として有効活用を促すため、指定管理者と協力しながら、より一層の利便性向上に努めるべきです。

市内外の団体が利用する公認陸上競技場

斎苑の老朽化への対応維持管理の徹底を

くりはら斎苑の管理運営状況や利用状況、主な修繕箇所について調査しました。

調査の結果

平成13年の設置から18年以上経過した「くりはら斎苑」では、４基の火葬炉をはじめとする各種設備について、市と指定管理者がともに確認や協議をしながら毎年必要な箇所を修繕していますが、施設・設備は老朽化の進行が見込まれます。

利用者が故人を安らかに見送ることができる施設として不備がないよう、計画的に修繕を行いながら、今後も維持管理の徹底に努めるべきです。

広報編集調査特別委員会

市民参加型の「議会だより」

委員会レポート

宮城県東松島市・岩手県久慈市
1月16日～1月17日

宮城県東松島市議会は、フットワークの軽さとスピード感のある広報広聴活動がなされ、各種団体との懇談会を行い、特集記事として掲載しています。また、紙面はすべてカラー化により、若い年代への発信力につながり、見やすさ・親しみやすさに配慮しています。

岩手県久慈市議会の議会だよりは「かだってタイムズ」として発行され、市民と議員の懇談会の企画記事や小学生に夢を語ってもらうコーナーを設けるなど、市民参加型を強く意識した議会広報となっていました。

調査の結果

両議会とも、限られた紙面の中で分かりやすく市民参加型の記事の作成に工夫を凝らして編集されていました。市議会だよりの編集に当たっても、市民により一層親しまれ、読みやすく、分かりやすい紙面づくりに努めていきたいと思いました。

意見書

委員会発議1件と議員発議1件の意見書が提出されました。2件とも全員賛成により可決しました。それぞれ関係機関に3月12日送付しました。

介護職員の労働環境処遇の改善を求める

２０１５年度には介護報酬が改定され、介護職員の処遇改善の加算も実施されているが、依然として介護職員の労働環境が改善されているとは言い難い。人材不足の解消・介護制度の充実を図るため、次のとおり強く要請する。

１．介護職員の処遇改善を国の責任で行うこと。

２．介護保険施設の人員配置基準を見直すとともに、夜間の人員配置は、１人夜勤を解消すること。

「桜を見る会」疑惑徹底究明を求める

内閣総理大臣が主催する「桜を見る会」にかかわる税金の私物化などの疑惑を究明し、国民に対し説明責任を果たすため、次の措置を講ずるよう強く要望する。

１．国会は、内閣総理大臣主催の「桜を見る会」への国民からの疑惑の究明を図ること。

２．政府は、事が内閣総理大臣にかかわる税金の私物化などの疑惑でもあり、自らの説明責任を果たすこと。

請願

産業建設常任委員会で継続審査

狭い通学路に歩道がほしい

市道「元木（もとき）線」歩道の設置について

請願者　栗駒南小学校
　　ＰＴＡ会長
　　小野寺　隆則
　　署名２１６１人

紹介議員　高橋勝男
　　高橋　将

この市道は、児童の通学路であり、地域住民の生活道路でもあります。また、市民バスも運行しているのですが、見通しが悪く狭い区間もあります。交通事故を未然に防止するため、歩道を設置してほしいという内容です。

陳情

２月定例会に３件の陳情書が提出されました。

火災発生原因による開示に関する陳情

菅原　行政さん

学校給食の公費負担（無償化や一部負担）と給食の改善を求める要請書

国民の食糧・農業、健康を守る宮城県連絡会
代表世話人　鈴木　新さん

２０２１年度介護保険法改定へ向け介護保険制度の抜本改善を求める国への意見書提出を求める陳情書

ＮＰＯ法人　介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ
理事長　内舘　昭子さん
ほか　６人